

埼玉県親善大使レポート Mar.

＊□イースター＊□

今月、3月はメキシコでとても大切な行事のある月です。

その行事とは、イースターです。イースターは、イエスキリストの復活を記念するキリスト教の行事です。日本語では「復活祭」と言うようですが、まだ日本では馴染みのないものだと思います。

メキシコでは、イースターのことを SEMANA SANTA(セマナ サンタ)と言います。敬虔なカトリック国ということもあり、毎年3月の末にはセマナ サンタの連休があります。この連休は職場や学校によって様々ですが、通常、1週間ほどのお休みがもらえ、学校によっては2週間もお休みになる所もあります。

確かに宗教行事ではあるのですが、『連休』というところだけをみると日本のゴールデンウィークのようなものでしょうか。実際にセマナ サンタ中は様々なところに旅行する人が多く、飛行機の料金やホテル料金などが通常の何倍にも上がります。また旅行や遠出の時にはメキシコでは長距離バスが一番ポピュラーな交通手段ですが、この連休の間のみ学生割引が適用されたりと、やはり大型連休といった感じです。

今回のセマナ サンタ中、私は以前のレポートでも紹介したタスコという街に行ってきました。

タスコでは毎年、街全体をあげての PROCESION (プロセシオン=聖行列)があるのですが、そちらを見に行ってきました。

セマナ サンタが数日に渡ることから、この聖行列も1日限定のものではありません。私は木曜日の夜から行われる、イエス・キリストの聖行列を見に行きました。この日の行列は一番時間が長く、夜の10時半から始まり、最後の行列が終わるころには朝の5時過ぎになっていました。

行列はタスコのとある教会から始まり、街をほぼ一周します。また行列をする際に大切なのがキリスト像です。タスコにある教会全てのキリストがスター

ト時点の教会に集められ、各教会ごとにキリスト像をお神輿のように担ぎ街を練り歩きます。集められたキリスト像は50体近くに上っていました。またキリスト像に同伴し行列に参加する人もいます。その人たちは黒い服を身に纏いキリスト像と共に行列に参加します。



こちらの写真は、キリスト像と共に行列に参加している女性達です。行列に参加するということはイエスキリストの痛みを分かち合うという意味合いがあるようで、この女性たちは行列で歩いている間は中腰の姿勢でキリスト像を持ち練り歩きます。

夜の画像ということもあり、少々怖い写真になっていますが、実際に見ると迫力倍増です。

メキシコの行事にはほぼすべて宗教が関係しており、祝日等があるたびにこの国の宗教に対する敬虔さを痛感するのですが、今回のセマナ サンタも他の行事に引けを取らない衝撃がありました。

少し日本が恋しく感じることもありますが、メキシコ的生活や習慣にも慣れてきました。ですが、まだまだメキシコには知らないことや興味深いことがあります。今回のセマナ サンタでそれを改めて感じると共に、メキシコは歴史、文化共にとても豊かな国だなと再確認しました。